



# にじいろ通信 No.83

発行：社会福祉法人健翔会 にじいろ  
 所在：埼玉県行田市谷郷 2-16-26  
 TEL:048-598-7898 FAX:048-598-7319  
 責任者：にじいろ管理者 齋藤真知子  
 MAIL:nijiiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、障害特性のある子どもたちに日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

**豆をまき新しい季節の始まりを迎えた子どもたち。活気に満ちあふれています。**

安全で安心できるにじいろを目指しています。

「鬼は怖い存在です」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

にじいろには節分になると毎年、本物そっくりの鬼がやってきます。本物そっくりと言っても、想像上の鬼しか知りませんが。節分は子どもたちにとって非常に恐ろしい行事ではないでしょうか？果たして怖い思いをさせてしまうことで子どもたちの心への影響はどのなのだろうか？と私は心配します。なので毎年鬼が怖いと感じる子どもたちには楽しい季節のイベントとして捉えられるように工夫しています。「鬼」を通して良いことを願い、悪いものを遠ざけるという人々の願いを体現し、日本の美しい伝統と文化を伝える絶好のチャンスでもあるからです。鬼がなぜトラの



2/2 節分イベントに鬼がやってきました。ちょっと怖くてビビった子どもたちでしたが、お庭で豆をまいた後は鬼さんと楽しく交流しました。来年も来てね!!えっ?



指導室をいっぱいを使ってハードル、平均台、足跡合わせ、バランスボードのサーキットに挑戦しました。職員の手を借りずに出来る児童も多くなりました。

模様のパンツを履き牛の角が生えているのか等、面白おかしく分かりやすく自作の紙芝居で伝えます。ポイントは殴っても蹴っても鬼は倒せません。鬼に勝つには「豆」しかない、「豆」こそが最強アイテムだと伝えます。「鬼は～そと」と大きな声で投げると力が増えると言います。今年は子どもたちの「心の中に住んでいる鬼」に注目して心の中の鬼がやってきました。ゲームばかりして夜更かししている子はいませんか？鬼が次から次へと問いかけます。ちょっと怖かったけれど自分の心と向き合えた児童もいたと思います。鬼をみんなで力を合わせて外に追い出し、堪忍させるといふ一連の流れがとても重要です。一昨年怖くて泣いていた児童が昨年は鬼のかつらをかぶり今年は鬼と向き合い笑顔で話をする事ができました。もちろん無理強いはいませんが、1年に1回だけ怖い存在が来るというのも成長につながっていると信じています。



ボールを投げて「泣き虫鬼」「いたずら鬼」「ゲーム鬼」など、みんなの心の中の鬼を退治するぞ!!



「シートベルトを外しちゃう子はどの子だ？」心の中の鬼がきたぞ～さあ、豆を投げて鬼退治だ!!



バレンタインおやつ作りに挑戦しました。材料の買い出しも体験しました。ひなあられや、コーンフレークにチョコをまがしておいしいチョコランチが出来ました。おいしかったね♥



「鬼は～そと」豆を投げて庭まで追いやったぞ!! 仲良くなった後は鬼のパワーをもらいました。

- ★3月の主な予定 1日：ぐるぐる変身鬼ごっこ 6日：ぐらぐらチャレンジ 8日：おすしで仲間集め
- 12日：真似っこ体操 13日：パスタ食べちゃおうゲーム 15日：コロコロゲーム 19日：マインドフルネス
- 20日：ジャガイモを植えよう 22春の散策 29日：チョークアート

- ★にじいろでほしいもの おもちゃ、本、音の出る絵本
- ★ありがとうございました 川村様：絵本